

2023 年度 フィールドスタディ（FS）実施企画

授業コード： AA0157

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	地域資源を活用した持続可能性と都市部との関連性について考える
担 当 者	杉野 誠
実 施 時 期	2023 年 8 月 7 日～10 日
実 施 場 所	山形市、尾花沢市、庄内町、米沢市
協 力 機 関	山形県庁、山形市役所、NPO 法人 環境ネットやまがた、おきたま新電力株式会社
募 集 人 員	10 名
学 習 目 的	フィールドスタディでは、地域の既存資源を有効活用した事業を対象に学習・調査を行います。この学習・調査を通じて、将来展開すべき持続可能な地域振興策やまちづくりのための方策を検討してもらいます。また、都市部と地方の関係についても理解・考察してもらいます。
行 程	A) 事前学習：学習目的や取組内容および地域に関して学びます。 B) 現地調査：①～③で学習・調査します。<u>※訪問先の都合により変更もあります。</u> ①山形市：山形県庁、山形市役所、環境ネットやまがた 内容：農業・林業の状況・取組について、脱炭素についての具体的な取組について ②尾花沢市：尾花沢次世代エネルギーパーク、銀山温泉 内容：エネルギーの持続的な活用法、地域観光資源について ③庄内町：庄内町次世代エネルギーパーク 内容：エネルギーの持続的な活用法、地域観光資源について ④酒田市・鶴岡市：生物多様性 内容：エネルギーの持続的な活用法および生物多様性について ⑤米沢市：おきたま新電力 内容：再エネ発電施設、事業取組、地域課題について グループごとに現地調査の結果を整理し、その内容を報告してもらう予定です。 C) 事後学習：事前学習とフィールドスタディでの学習・調査結果の最終報告会を行い、最終課題について説明します。
現地訪問の際 の 安 全 対 策	現地までの移動および現地滞在の時は、不織布マスクの着用、手指の消毒、密を避ける行動など、十分な感染予防対策を行います。
費 用	約 35,000 円（山形県内の移動、入園・入館料、体験費、宿泊代を含む） <u>※参加人数、交通手段、宿泊数などによって、費用額が変わります。</u>
奨励金の カテゴリー （ 予 定 ）	C：3,000 円
選考基準	志望調査票の内容をもとに選考を行います。場合によっては、その内容に基づいた面接も行います。
事前・事後 学 習 の 予 定	(1) 事前学習：日時は、<u>2023 年 7 月下旬から 8 月上旬</u>に実施予定 (2) 事後学習：日時は、<u>2023 年 8 月末に実施（FS 終了後）</u> 予定 ※(1) と (2) は<u>対面またはオンライン</u>で実施する予定です。

注 意 事 項	(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。 (4) 実施企画の質問などは、「makoto.sugino.53@hosei.ac.jp」までご連絡ください。
中止の場合の代替措置	テーマに関する<u>グループワーク</u>と<u>プレゼンテーション</u>を実施し、その後<u>レポート</u>を提出してもらう予定です。
評価方法	事前学習や事後学習への参加や課題、訪問先での参加状況と積極性、合同検討会・報告会の内容とそれをまとめたレポートをもとに総合的に評価します。